



医師事務作業補助者

ご紹介します

■ 医師事務作業補助者誕生の背景

医療機関では、多くの文書作成や事務処理が必要となります。カルテの作成はもちろんのこと、診断書や他院への紹介状作成など、その事務業務は多岐にわたります。

こういった文書作成やその他の事務業務を医師の指示のもとで補助するのが「医師事務作業補助者」です。

長年医師の業務負担の多さが問題視され、医療の質の確保と医師の定着が必要とされてきました。医師が今まで行っていた事務作業の負担を軽減、診察や手術に時間をあてることによって、医療の質を向上させることを目的として2008年4月の診療報酬改定に伴い「医師事務作業補助者」が誕生しました。

■ 当院における医師事務作業補助者の役割と業務

医師事務作業補助者の呼び方は病院によってさまざまですが、当院では **Medical clerk 通称 MC (エムシー)** と呼ばれています。

当初は、何から手を付けてよいのか分からず、まずは診断書の作成補助から始めました。私たちは医学については全くの素人だったので医師の書いたカルテの略語、英語の記載などを解読することが大変でした。そこで少しでもスキルを上げるために独学で勉強したり、先生方に質問するなど医療の知識の幅を広げる努力をしました。また私たちMCの存在の認知度が低く、仕事の需要がなかったため、宣伝ポスターの作成や新規業務を獲得するため先生方の前でスピーチを行ったこともありました。その後、2014年4月各科に担当MCが配属され、徐々に業務を拡大することが出来ました。

医師事務作業補助者が携わる業務は病院ごとに異なりますが、当院では主に下記業務を行っております。とても地味な作業ですが、何よりも“先生方のお役に立てる”こと、医療への貢献にも繋がることに働きがいを感じています。先生方に感謝の言葉を頂いたときは、言いようのない喜びや達成感があります。

- ・ 各種診断書、退院サマリー等の文書代行作成
- ・ 診療情報提供書（紹介状・返書等）の代行作成
- ・ REDCap、NewJCDTR、JROAD（各診療科ごとのデータ集積管理システムへの登録）
- ・ 臨床データベース入力（NCD、CCU、JOANR）
- ・ 日本脳神経外科学会
- ・ 学会資料収集・作成、文献検索
- ・ 予約センター（予約変更・検査説明）
- ・ 手術室医師事務作業など

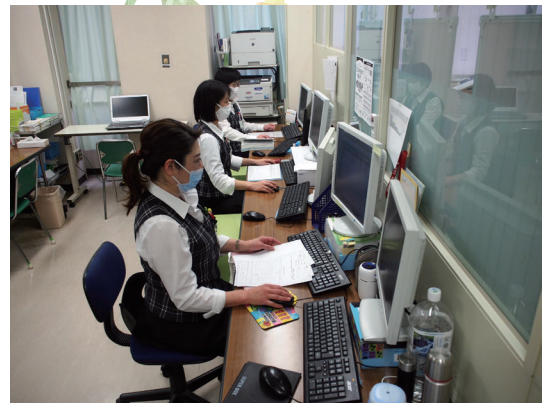
当院のMCは現在16名が在籍しています。以前は人数が大幅に減少し業務を縮小せざるを得ない時期もありましたが、ここ数年人数が定着したことで業務依頼が増え、医師の事務負担軽

減に貢献すべく今日に至ります。

医師事務作業補助者は資格がなくても出来ませんが、厚生労働省が定める32時間の研修を受けて基礎的な知識を得る必要があります。未経験で入職した同僚には比較的容易に出来る業務から携わってもらいます。

文書作成補助業務には様々な種類の診断書があり、カルテの内容を正しく理解し、診療内容を的確に記載するスキルが求められるため、長期間の教育が必要になります。独り立ちした後も日々勉強を繰り返し、専門知識の向上と個人のスキルアップが求められます。今後、医師事務作業補助者に求められる役割は増えていくと考えられます。医師の業務負担を減らし、医師が患者さんと向き合う時間を増やすことにより、患者さんの満足度はもちろん、医療現場の質の向上に貢献していきたいと思っています。

個々の研鑽に努め、チーム医療の一員として信頼されるMCIになれるよう日々業務を行って参ります。



(文責: 医師事務作業補助者 菅沼 雅美)

櫻会からのお知らせ

関東中央病院 糖尿病教室と糖尿病患者の会「櫻会」例会 ハイブリッド開催(現地開催およびWeb開催の併用)のお知らせ



2022年1月の糖尿病教室と櫻会例会は、前回と同様ハイブリッド開催(現地開催およびWeb開催の併用)で実施いたします。

参加は「櫻会」会員様に限らせていただきます。事前に内科受付で糖尿病教室の申し込み用紙を貰い、⑬番窓口で申し込んでください。主催者側6名を含む先着30名様限定とし、申し込み用紙の半券を入場券とさせていただきます。参加費は無料ですが、昼食はご提供出来ませんのでご承知おき下さい。

櫻会会員のみなさまには、事前にお送りする定期刊行物に、『Zoom』利用の際のURL並びにミーティングIDやパスワード等を同封いたします。

日時:2022年1月20日(木)(会費無料)

会場:関東中央病院 2階講堂

・糖尿病教室:10:00~11:30

糖尿病・内分泌内科の岡畑部長と医師たちが、日本糖尿病協会発行の月刊誌「さかえ」から重要なテーマやトピックスを解説します。

・櫻会例会:11:30~12:30

看護部のミニレクチャー及び連絡事項

*低血糖予防のブドウ糖などは各自ご用意下さい。

*感染予防のため、ご家庭で体温を測定し、37.4℃以上の場合は参加をご遠慮下さい。

*倦怠感、咽頭痛、咳、痰、味覚障害、嗅覚障害などの症状がある場合も参加をご遠慮下さい。

*当日は、マスク着用を必須とし、手指消毒の上、離れて着席頂きます。

*公的な外出自粛規制並びに院内の感染状況を勘案し、開催中止が決定した際には、関東中央病院のホームページ(website)への掲載及び整理券をお持ちの方には個別にご連絡いたします。

*「櫻会」入会をご希望の方は、ご自身のお名前・住所・電話番号を記載し、葉書で下記にお申込みください。

〒158-8531 東京都世田谷区上用賀6-25-1 関東中央病院 櫻会宛

(文:会長 児玉 豊)